

飛驒高山SDGsパートナーシップセンター

SDGsの達成には、市民の皆さんや団体、事業者などの多様なステークホルダー（関係者）が一緒に取り組んでいくことが必要です。

個々の取り組みを行うことに加え、多様なステークホルダーがつながり、互いに関係性を持ちながらSDGsの取り組みを進めることで、地域課題の解決や新たな発想の創出が生まれ、これまで想像できなかったような活動が起き、新たな道も拓かれます。

そうした相互の連携・協力による取り組みを生み出し、持続可能なまちづくりを推進するため、「飛驒高山SDGsパートナーシップセンター」を令和4年5月16日に設立しました。

当日は、センター長に就任される細田衛士さん（東海大学副学長）に委任状が交付された後、経済、社会、環境の各分野で活躍されている委員による取り組み事例の紹介や、SDGs推進アドバイザー、オブザーバーである中部大学を交えた意見交換を行いました。

その中で、SDGs未来都市計画に掲げる世界を魅了し続ける「国際観光都市 飛驒高山」の実現に向けた取り組みについて大変貴重なご意見をいただきました。

今後は、このパートナーシップセンターをSDGs推進のためのプラットフォームとして、様々なステークホルダーの連携を深め、SDGsの取り組みを促進します。



活動内容

Action 1

- SDGs活動の活性化（ステークホルダーの連携促進）
- 飛驒高山SDGsパートナー登録制度

Action 2

- SDGsの気づき、きっかけづくり
- 私なりのSDGs宣言制度

Action 3

- SDGsに関する普及啓発・情報発信
- 市HP、SNSなどによる情報発信
- シンポジウムやセミナーの開催
- リーフレットやコンテンツの作成 など

